



平成26年度 横浜市地域包括支援センター職員研修

初任者研修

包括職員が今、抱えている
一番の課題ってなに？

権利擁護

総合
相談

介護予防
マネジメント

地域包括ケアシステム。
どう捉えたらいい？

社会的援護を必要とする人々に
どんなアプローチが大切なの？

地域包括ケアシステム

変わりゆく介護保険制度。
今、国はどこへ向かっている？

今、することできること、
理解していますか？
動いていますか？

日時 第1回 9/2(火)・第2回 9/17(水)
9:30-17:00

会場 ウィリング横浜 12F

受講料 無料

対象 横浜市地域包括支援センターに所属する職員（主任ケアマネジャー・社会福祉士・保健師）のうち、おおむね経験年数1年未満の方で、平成25年度の横浜市地域包括支援センター職員基礎研修 未受講の方は、原則受講してください。

申込方法 申込書に必要事項をご記入の上、FAXでよこはま地域福祉研究センターまでお申し込みください。追ってご連絡致します。

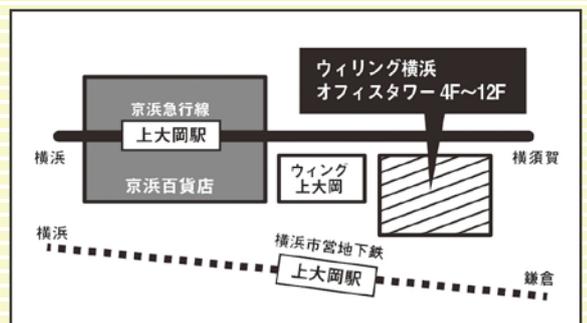
受講決定者にはプレワークシートをご提出いただく予定です。詳細は受講決定時にご案内します。

締切 8/25(月) 必着

研修申込・研修内容に関するお問い合わせ / よこはま地域福祉研究センター
主催 / 横浜市健康福祉局高齢在宅支援課・地域支援課

地域包括支援センターの意義・役割、その業務、他の専門職種との連携について理解し、業務を行う上で、必要な知識の習得及び技能の向上を図ります。

また、地域ケアプラザにおける地域の課題解決、ネットワークに関する知識を習得することで、地域包括支援センターを含めた包括的な地域支援の役割を習得します。



(京急・市営地下鉄線上大岡駅直結 徒歩3分)

プレワーク

研修を受講するに当たり、地域包括支援センターの業務にあたっている自らの状況について確認します。

9/2(火)

地域包括ケアシステム構築の意義と包括支援センターの役割

講義

- ・地域ケアプラザとは
- ・地域包括支援センターとは
- ・横浜市における地域包括ケアとは
- ・地域包括支援センターの実践について

ワーク①

自己紹介「包括職員として今抱えている課題」

講師

横浜市健康福祉局地域支援課係長
大橋 直之
横浜市健康福祉局高齢在宅支援課係長
大島 範子
片倉三枚地域ケアプラザ所長
塩山 母都子

9:30-12:00

13:00-17:00

権利擁護事業の理解と包括支援センターの役割

講義

- ・社会的援護を必要とする人々に対する福祉の役割
- ・権利擁護を行う業務プロセスとネットワーク
- ・権利擁護事業の普及啓発

事例検討

世帯で見立てる社会的援助の必要性と解決プロセス

講師

公益社団法人 あい権利擁護支援ネット
代表 池田 恵利子 氏

9/17(水)

介護保険制度の動向と介護予防ケアマネジメント

講義

- ・介護保険制度の現状及び、介護予防の必要性
- ・予防対象の捉え方とマネジメントの実際
- ・事例から学ぶ、効果的介護予防ケアマネジメント

ワーク②

介護予防の進め方いろいろ

講師

日本女子大学
人間社会学部社会福祉学科
黒岩 亮子 氏

9:30-12:00

13:00-17:00

総合相談の役割と実践

講義

- ・相談援助とは
- ・相談援助のプロセスとネットワーク創り
- ・個別課題と地域課題の整理を行うことによる課題解決

ワーク③

課題抽出・課題解決ネットワークの創り方



平成26年度 横浜市地域包括支援センター職員 初任者研修 受講申込書

この申込用紙にてFAXでお申込み下さい。 **FAX : 045-228-9118** ※申込締切：8月25日(月) 必着
※複数でお申込みの場合、コピーしてからご使用ください。

所属職場名称

所在地 〒

TEL :

FAX :

申込者氏名(ふりがな)

男
・
女

年齢
歳代

職種・役職

福祉職 / 看護職経験年数
年 月

現職経験年数
年 月

E-mail アドレス

※必ずご記入をお願いします

@

受講動機・講座に期待すること

※ここに記載された個人情報は、本事業以外の目的では使用しません。

【申込み・お問合わせ先】 特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター (担当：塚原・佐塚)

〒231-0013 横浜市中区住吉町 2-17 金井ビル 201号 www.yresearch-center.jp

Tel : 045-228-9117 Fax : 045-228-9118



Yokohama Community development Research center